

美郷町堆肥センター稼働

畜産環境の改善と地域農業の活性化の中軸に

美郷町の豊かな環境保全にも貢献

平成十八〜二十年年度の三ヶ年にわたり建設される美郷町堆肥センター（美郷町千屋字相長根）が四月一日稼働しました。

この施設は、畜産環境の改善と耕種農家へ良質な堆肥の供給が目的

で、臭気や汚水環境などに配慮した施設として建設されました。運営については、第三セクターの株式会社美郷の大地（深澤誠代表取締役）に管理を委託しています。

総事業費は約四億三千万円で、施設

については、発酵棟・製品棟・もみがら貯留棟及び管理棟からなり、総建築面積四、三三二㎡、敷地面積一六、七一八㎡となっています。

良質で安価な有機質肥料の供給を販売は七月以降を予定

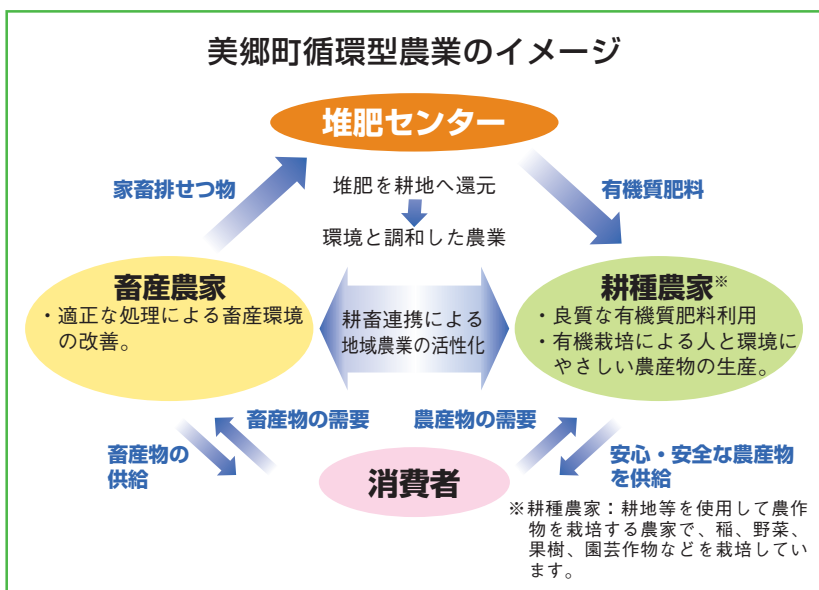
一日に十九・七トンの牛、豚、鶏の排せつ物を処理し、年間四千三百トンの堆肥製造を目指します。処理方法は、一次発酵をロータリーキルン式（ナラサキバイオドラム）を採用し、密閉したドラムの中で連続的に原料を混合・かく拌を行い、均一化された発酵と臭気対策を兼ね備えています。処理期間は一次発酵を四日〜五日、二次発酵を八十日程度で完熟堆肥となります。

循環型農業を目指す

良質な堆肥を安定的に供給をすることで、人と環境にやさしい安心・安全な農産物が生産され、農産物の「美郷ブランド」方向上と、地域農業の活性化に大きな役割を担うことが期待されています。また、畜産農家と耕種農家を結びつけ、循環型農業の確立を目指します。



4月23日のお披露目式には松田町長を始め、農業関係者など約100人が出席しました。



美郷町堆肥センター

美郷町千屋字相長根132番地20
(ラベンダー園近く)

電話・FAX ● 0187(85)2121
営業日 ● 月曜日～土曜日
休業日 ● 日曜日(原則)

地販地消推進計画を策定

今年度はショッピングガイドの発行と情報発信
美郷ブランドとなる商品開発の支援を実施



名水市場湧太郎で開かれた「地販地消シンポジウム」(3月19日)

町では、町内産品などの地域内流通と消費拡大を促し、町内経済の活性化を図る地販地消推進計画を策定しました。今回の計画は平成二十一年度までの取り組みをまとめたもので、農業、商業、工業、観光の連携・ネットワークを図りながら、町民が町内特産品等を積極的に消費・活用していただけるようなアクションプランを盛り込みました。

二十年度は、ショッピングガイドの発行や、インターネットを活用した情報発信、新たな特産品となりうる地産品の商品化までの支援を行います。



「変化の行方」

美郷町長 松田知己



六郷中学校入学式で祝辞を述べる松田町長。

ほのぼのとした桜色からバトンを受け、身の回りは新緑に包まれてきました。徐々に深まる緑色の変化にやすらぎを感じるころですが、みなさんはいかがでしょうか。

一方、世の中は心に余裕を与えない変化の連続となっております。例えばガソリン税の問題。「一体どうなることやら」と心配の連続です(原稿に向かっている現在、雲行きは衆院再議決のようですが)。消費者の立場では安いことはありがたいところです。しかし自治体の立場では喜ぶことはできません。住民サービスにマイナス影響があるからです。

仮に、一年間暫定税率が復活しなければ、美郷町では単純に収入が約二億八千万円減ります。その結果、それに見合う支出カットなどを検討しなければなりません。それが道路整備の分野だけで留めることができないことが、この問題の大きいところです。

こうした不測の事態にも適切に対処してい

くには、やはり各分野で、身の丈にあった体制を早く構築することが求められます。その一端に施設管理のスリム化がある訳ですが、町では昨年度からその方向性を定める「公施設あり方」を検討してきております。この度、その概要をまとめました。先般、町議会に説明させていただいたところです。

具体的方向性は、今月号に取り上げているとおりですが、施設状況や利用状況などを踏まえ、統廃合を検討するか現状維持とするか、はたまた譲渡を検討するか管理形態を検討するか分類しました。今後は、その分類方向で具体作業を重ねてまいります。とりわけ、統廃合に分類した施設については、利用する立場でいろんな意見があるものと思えますので、多方面からの見方で議論を重ね、道筋を明らかにしてまいります。また、学校施設についても、先月号に掲載したとおり望ましい学校規模をまとめたほか、温泉施設についても同様に方向性をまとめており、今後、それぞれ更に具体作業を進めてまいります。

「一つを得れば一つを失う」。就職した時に、ある先輩が言っていた言葉です。いろんな分野のさまざまな事柄に当てはまります。「なるほど真理だなあ」と思うこの頃です。

5月のふれあい談話室

5月15日(木) 役場千畑庁舎 1階応接室
午後5時から午後6時30分

ご希望のかたは前日までお申し込みください。

問い合わせ

役場(六郷庁舎)総務課 秘書広報班
☎0187(84)1111

移動町長室

町長が毎週火曜日に仙南庁舎、木曜日に千畑庁舎で執務しています。(会議への出席などにより、実施できない場合があります)